

学校業務改善 推進校 実施計画書

学校名 洲本市立洲本第三小学校

校長名 大久保 友弘

学級数	20学級	児童生徒数	527名
プロジェクトチームのメンバー構成	校長・教頭・事務職員・各学年代表1名ずつ(9名)		
1. 学校業務改善に係る自校の課題等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共有化された電子ファイルの活用と一層の整理</li> <li>・ ルールブックの有効活用</li> <li>・ WLB設定日以外の退庁時間の改善</li> <li>・ 定例会議以外の会議の持ち方</li> <li>・ 教科担任制・少人数・外国語活動のための打ち合わせ・準備時間の増加</li> <li>・ 新学習指導要領実施に伴う教材作成や事務量の増大</li> </ul>			
2. 「学校業務改善実践事例集」等に基づく、課題解決のための取組項目(該当するものに )			
	(1) 学校ルールブックの作成		
	(2) 電子ファイルの共有		
	(3) 児童生徒データベースの作成		
	(4) 出席統計作成ファイルの作成		
	(5) トライやる・ウィーク関連資料の支援ファイルの作成		
	(6) 校務・業務の効率化やIT化		
	(7) 学校事務の改善について		
	(8) 研修・会議等の効率化		
	(9) 学校行事・事業の見直し・廃止について		
	(10) 部活動のあり方について		
	(11) 外部人材等の活用について		
	(12) 勤務環境について		
	(13) その他( )		
3. 上記、課題解決のための具体的な取組内容と工夫する点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の意識改革の継続を図る</li> <li>・ 作成したルールブックの広報並びに細部の見直し</li> <li>・ 通知簿のIT化の継続並びに各小学校への広報・伝達</li> <li>・ WLBの継続</li> <li>・ 年次休暇や特別休暇を取りやすい校内体制の構築</li> </ul>			

上記(1)～(5)は「学校業務改善実践事例集」(6)～(12)は「教職員の勤務時間適正化対策プラン」の項目「学級数」及び「児童生徒数」は、平成23年4月1日現在。